



いわもとまさき  
**岩本 真輝** 御船中学校3年

Profile—いわもとまさき。ものづくり部副部長。滝川在住。平成29年度第18回全国中学生創造ものづくり教育フェア初出場にて日本一の栄冠を手にした。

# 2年連続 全国大会出場決定！

ものづくりへの熱い思いで2連覇誓う

御船中学校（井上幸三校長・365人）のものづくり部で副部長を務める岩本真輝さん（3年）が、第19回全国中学生創造ものづくり教育フェア木工チャレンジコンテスト熊本大会、九州大会で見事優勝を果たし、2年連続で全国大会への出場権を獲得しました。

昨年は、初出場で全国大会へと進み、文部科学大臣賞を受賞。全国の頂点となる快挙を成し遂げました。

今回、製作したものは「変形キッズハンガーラック」。このラックは、子どもの洋服をハンガーでかけたり、横にバックや帽子をかけたたりすることができ、下段のスペースには子ども用の洋服が収納できます。また、ラックの部分を取り外し、下段のスペースに差し込むと、傘立てにもなり、傘から滴り落ちる雨水で、下の空間に観葉植物を置き、育てることも可能です。一つのラックからさまざまな用途を兼ね備えた作品です。

同コンテストでは、与えられたヒノキ板材を用いて、4時間以内で、のこぎりや平かななどを自由に使用し、製作します。製作中は、二つの木の板を重ねてラックの柱となる部分をきれいに仕上げるために丁寧に



▶子ども用の洋服かけにもなり、下の空間には洋服やタオルなど収納が可能に



▶傘かけにもなり、傘から滴り落ちる水滴で植物を育てる楽しいアイデアも

### ■木工チャレンジコンテスト九州大会

優勝 岩本 真輝（3年—全国大会出場）  
準優勝 梶原 政宗（2年）

### ■創造アイデアロボットコンテスト九州大会出場者■

【基礎部門】高橋 心之助（1年）  
【活用部門】梶原 政宗（2年）・田上 莓果（2年）  
【応用部門】高橋 太朗（3年）・藤井 裕輝（3年）・吉田 竜一郎（2年）  
岩本 真輝（3年）・高松 洋斗（2年）・川部 琉生（1年）



九州大会出場メンバーとものづくり部の仲間たち

# 吹奏楽の 甲子園で金賞

いつでもどんな時でも  
さいこう  
“最幸”の演奏をお届けしたい

福岡県の精華女子高等学校に通う宮本風葉さん（2年）が所属している吹奏楽部は、10月に行われた第66回全日本吹奏楽コンクールでは22回出場13度目の金賞受賞。さらに11月に行われた第31回全日本マーチングコンテストで20回連続金賞という全国トップレベルの実力を持つ。県内外を問わず公演やイベントを年間約130回行っている。

### 音楽との出会い

小学校の時は、バスケットボール部に所属。中学校では音楽の経験はなかったが、吹奏楽



みやもとふうわ  
**宮本 風葉**

### 精華女子高等学校2年（福岡）

Profile—みやもとふうわ。御船出身。御船中学校で吹奏楽に出会い入部。卒業後、福岡県精華女子高等学校に入学し、吹奏楽部に入部。担当はクラリネット。現在、親元を離れ寮生活を送りながら高校生活と部活動に励んでいる。

部を選び、入部を決めた。それが表情豊かなクラリネットとの出会いと始まりだった。

オーディションにかける想い  
高校では、全員がコンクールやマーチングで演奏できるわけではない。出場できるメンバーは部員数151人の中からコンクールは55人、マーチングは81人に絞るためのオーディションが行われ、選出される。宮本さんは1年生の時はマーチングメンバーのみの出場だったが、今年度は全日本吹奏楽のメンバーにも選ばれ、全国の舞台での演奏を



▲精華女子高校のコンクールでの演奏風景

経験することとなった。毎日の朝練や放課後の練習を振り返り、「中学校の頃から憧れていた舞台。夢の一つが叶った」と胸いっぱいになった。また、「応援してくれる先生方、保護者、精華ファンに感謝の気持ちと観客の人たちに、「最幸」の演奏演技をお届けしたいという気持ちだった」と力強く語った。

### 両親への感謝

寮での生活を始めた頃は、環境の変化について行けず悩んでいた。しかし、友人や両親などの支えで乗り越えることができ、今では誰もがしないことを進んで行うなど積極性もでてきた。宮本さんは両親に「自分が



▲全日本コンクール、マーチング金賞W受賞

### 最幸の音楽

音楽は宮本さんにとってなくてはならないものとなった。将来は「一人を幸せに、そして感動させる仕事につけたら」と話す宮本さん。それはこの音楽で培われたものであり、今後の原動力となっていく。

「精一杯応援していきたい。感謝の気持ちを持ち、後悔のない毎日過ごし、高校の3年間で大切なものを学んでほしい」と熱く話す。